

第 21 回 嘉麻市デジタル推進協議会 会議録

1. 審議会等の名称 第 21 回嘉麻市デジタル推進協議会
2. 開催日時 令和 8 年 5 月 27 日（水） 19 時 00 分～
3. 開催場所 嘉麻市役所本庁舎 5 階 委員会室 2
4. 公開又は非公開 公開
5. 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）
6. 出席者
 - (1) 委員
会長 川原 憲治
副会長 松岡 瞳子
委員 岡本 洋子、有光 勇樹、深町 政幸、長野 美津子、角 ちひろ、
新開 未奈子、山口 希代子
(欠席：田中 幹、原田 景子、大塚 樹里)
 - (2) 執行機関
デジタル戦略課 課長 古賀 義宏 課長補佐 山本 匡貴 電算管理係長 伊藤 一将
デジタル戦略係 立石 梓 電算管理係 深江 壮
7. 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0 人
8. 議題及び審議の内容
 - 開会
 - 会長あいさつ
 - 市長あいさつ
 - 委嘱書交付
 - 令和 8 年度事務局組織体制について
 - 会議事前アンケートの集計結果について
 - 議事

【議題】

 - (1) 報告書提出
 - ・令和 7 年度嘉麻市デジタル推進計画進捗に係る報告について（資料_3）
 - (2) 報告
 - ・令和 7 年度嘉麻市デジタル推進計画進捗状況アンケート（年度末）に対する回答について（資料_4）
 - (3) 協議
 - ・令和 8 年度の評価方法について（資料_5）

(4) その他

- ・令和8年度デジタル啓発イベントについて（資料_6）

【審議の内容】

(1) 報告書提出

- ・令和7年度嘉麻市デジタル推進計画進捗に係る報告について（資料_3）
デジタル推進協議会から嘉麻市に対して、令和7年度の嘉麻市デジタル推進計画進捗について報告を行った。

(2) 報告

- ・令和7年度嘉麻市デジタル推進計画進捗状況アンケート（年度末）に対する回答について（資料_4）
事務局より、資料_4の説明を行った。

【委員】

No. 22（オンラインによる市民からの情報収集推進）について、ホームページに問い合わせフォームがあること自体が市民に知られていないことが多い。より分かりやすい周知を行っていただきたい。周知されていれば「思いを届けるすべがない」という意見は出ないのではないか。

【事務局】

ホームページの所管課とも協力し、分かりやすい周知について検討する。

【委員】

No. 8の市民のスマホ保有率向上推進について、市の周知や協議会等からの働きかけだけで保有率が上がるものではないと思う。しかし「誰一人取り残されることなく」進めるのであれば、スマホを持っていない方（主に高齢者）への穴埋めをどうしていくかが最終年度の課題である。保有率が100%になることはないため、持っていない方が何かをやるようになった時にどう対応していくべきかを考える必要がある。

また、高齢者の方が何か意見を上げる際、例えばNo. 19のオンライン化推進においても、オンライン化して「要望を上げてそのうち解決してもらおう」という仕組みでは、状況によっては対応が遅れてしまう。そのため、オンライン化だけでなくリアルタイムに回答や返事ができる体制も必要ではないか。

デジタル化したからには、100%利用でき、かつ適切に対応してもらえる仕組みづくりが求められるため、関係各所への働きかけをお願いしたい。これは個別のアクションプランに対する意見というより、計画全体に対する意見である。

【事務局】

スマホの保有の有無に関わらず、すべての市民が情報を入手でき、意見を届けられる仕組みづくりは市の責務であると認識している。市民が情報から取り残されることのないよう、関係各課と十分に協議した上で進めていく。

(3) 協議

- ・令和8年度の評価方法について（資料_5）
事務局より、資料_5に基づき3か年の総括評価による達成率の算出方法およびヒアリングシート案について説明を行った。

【委員】

複数課にまたがるアクションプランの場合、ヒアリングシートはどのように提出され、整理されるのか。

【事務局】

各課から各アクションプランに対して1つシートを提出していただき、事務局にて傾斜配分等を用いて一本化した形で整理し、協議会に提示する予定である。

【委員】

次期（第2次）計画に向けて、第1期の積み残しや優先的に進めるべき事項などについて意見交換ができるよう、ヒアリングシート等にリスト化してまとめていただきたい。参加されている協議委員も、継続してやる課題が複数あるなかで優先度の考慮がしやすくなるかと思う。

【事務局】

現時点では様式案の段階であるため、いただいた意見を反映させ、次期に向けた意見集約も可能なシートとなるよう調整を進める。

(4) その他

- ・令和8年度デジタル啓発イベントについて（資料_6）
事務局より、資料_6に基づき、令和9年2月にTEPIA（高度技術社会推進協会）主催による「(仮称)嘉麻市プログラミング体験広場」の開催予定について説明を行った。

【委員】

学校教育など、他の発表会と合同開催は可能か。子どもたちの発表の場と同じ時期・会場で行うことができれば、励みになり集客の相乗効果も期待できる。

【事務局】

TEPIAのイベントとしては独立した事業となるが、同じ場内で別のイベントを同時開催することは可能と伺っている。関係課と調整し、検討していきたい。

【委員】

事前に学校にアンケートを実施し、興味のあるプログラムをマッチングしてはどうか。小中学生だけでなく、幅広い層が興味を持てるような工夫をお願いしたい。

【事務局】

いただいた意見を参考に、より多くの参加者が楽しめるプログラムを選定できるよう

調整する（約 10 プログラムの中から選定予定）。広報の仕方についても工夫して進めていく。

（5）次回開催日程

別途電子フォーム等にて日程調整を行う。※令和 8 年 1 2 月予定

日時 令和 8 年 月 日 水曜日 午後 7 時～

場所 嘉麻市役所本庁舎 5 階 委員会室 2

○閉会

9. 配布資料

- ・レジュメ
- ・資料 1_令和 8 年度委員名簿
- ・資料 2_会議事前アンケート集約結果
- ・資料 3_令和 7 年度嘉麻市デジタル推進計画進捗に係る報告について ※ 4 月末時点
- ・資料 4_令和 7 年度嘉麻市デジタル推進計画進捗状況アンケート（年度末）に対する回答について
- ・資料 5_令和 8 年度の評価方法について
- ・資料 6_令和 8 年度デジタル啓発イベントについて